

# 駅ホームの混雑を解消する「乗車位置目標」の最適解： 簡易なサインの工夫で旅客の適切な整列を促す実証デザイン

## 課題とアプローチ

### 現状の課題



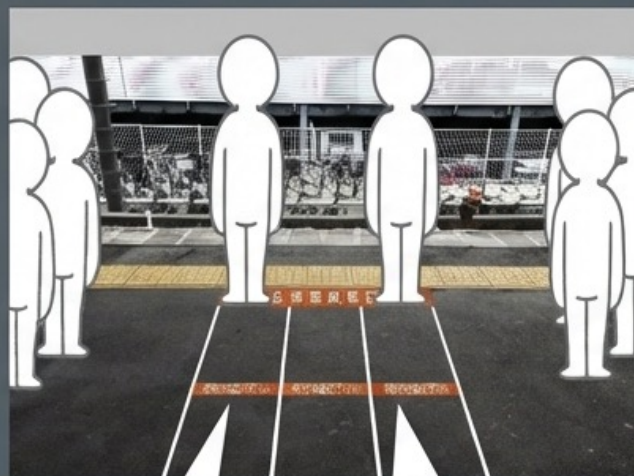
- 駅ホームの乗車位置サインが機能していないケースが多発。
- 「3列」で並ぶよう構成されていても、実際は1列や2列になり、ホーム上の混雑やスペースの浪費を引き起こしている。

### 検証実験の概要



- 対象者: 9歳~80歳の男女58名 (幅広い年齢層を網羅)。
- 手法: 実際のホーム画像を加工し、サインの条件 (線の有無/幅、人数、注意書き等) を変えた17パターンをタブレットで提示。
- タスク: 既に並んでいる旅客 (白い棒人間) に対して、自分が並ぶべき位置 (赤い棒人間) を1画面につき3秒間で直感的に選択させるA/Bテストを実施。

## 最も効果的だったサインデザイン



【必須要素1】  
並ぶ人数分ずつに区切られた明瞭な白線

【必須要素2】  
「3列でお並び下さい」  
などの具体的なテキスト  
による注意書き

## 検証結果と導入メリット

### デザイン効果の比較マトリクス

#### ☑ 効果大 (採用すべき要素)

人数分の区切り線 + 具体的な注意書きの  
組み合わせ。

※年齢、性別、職業などの旅客属性に関わらず、等しく高い整列効果を発揮。

#### ✗ 効果薄 (不要な要素)

ピクトグラムの追加 / 床の色による塗り分け /  
3列の中央部のみを広げる工夫。

### 現場への導入メリット

- 即効性: 大掛かりな設備投資や改修工事は一切不要。
- 低コスト: 駅などの現業機関に既にある器具 (テープや塗料など) で容易に施工・改善が可能。交通事業者の課題をスピーディに解決。